

診療グループ名  
レジメンセット名称

肺がん(非小細胞非扁平上皮がん)  
87 CBDCA+PEM+Pembrolizumab(1~4コース)

投与規定  
インターバル日数 (21)日  
レジメン基準日 day(1)

通しNo	癌	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	点滴時間・速度	day(1)	day(2)	day(3)	day(4-21)
		大塚生食注	100 mL		ラインキープ用		●			休業
No.1		生食100mL	100 mL	点滴静注	メイン①	30min	●			
	◆	キイトルーダ点滴静注	200 mg/body				●			
		* 蛋白質透過型のインラインフィルター(0.2ミクロン)使用					●			
No.2		大塚生食注	50 mL	点滴静注	メイン②	全開	●			
No.3		バロノセトロン点滴静注バッグ0.75mg	0.75 mg	点滴静注	メイン③	30min	●			
		デキサート注射液	9.9 mg		開始時No.7アプレピタント服用		●			
No.4		大塚生食注	100 mL	点滴静注	メイン④	10min	●			
	◆	ペメトレキセド点滴静注液	500 mg/m2		●					
No.5		大塚糖液5%	250 mL	点滴静注	メイン⑤	60min	●			
	◆	カルボプラチン点滴静注液	AUC 5		●					
No.6		大塚生食注	50 mL	点滴静注	メイン⑥	全開	●			
No.7		アプレピタントカプセル125mg内服	125 mg	内服	メイン③開始時服用		●			
No.8		アプレピタントカプセル80mg内服	80 mg	内服	朝食後			●	●	
No.9		デカドロン錠4mg内服	4 mg	内服	朝食後			●	●	

上記表にて設定する抗がん剤について

通しNo	薬品名・規格	標準値	上限値
No.1	◆ キイトルーダ点滴静注	200 mg	
No.4	◆ ペメトレキセド点滴静注液	500 mg/m2	
No.5	◆ カルボプラチン点滴静注液	AUC 5	

<プレメディケーション>

○葉酸

本剤初回投与の7日以上前から葉酸として1日1回0.5mg(フォリアミン錠あるいはパンピタン末など)を連日経口投与する。なお、本剤の投与を中止又は終了する場合には、本剤最終投与日から22日目まで可能な限り葉酸を投与する。

○ビタミンB12

本剤初回投与の少なくとも7日前に、ビタミンB12(メコバラミン注など)として1回1mgを筋肉内投与する。その後、本剤投与期間中及び投与中止後22日目まで9週ごと(3コースごと)に1回投与する。

投与可能条件(初回)

検査値	基準
Neut	>1000
PLT	>7.5
Ccr	>45

減量基準

検査値	基準
下記	

<減量基準>

最低好中球数<500/mm<sup>3</sup>及び最低血小板数≥50,000/mm<sup>3</sup>; 前回の用量の75%

最低好中球数に関わらず最低血小板数<50,000/mm<sup>3</sup>; 前回の用量の75%

最低好中球数に関わらず出血を伴う最低血小板数<50,000/mm<sup>3</sup>; 前回の用量の50%

粘膜炎を除くグレード3又は4の毒性; 前回の用量の75%

入院を要する下痢(グレードは問わない)又はグレード3若しくは4の下痢; 前回の用量の75%

グレード3又は4の粘膜炎; 前回の用量の50%